

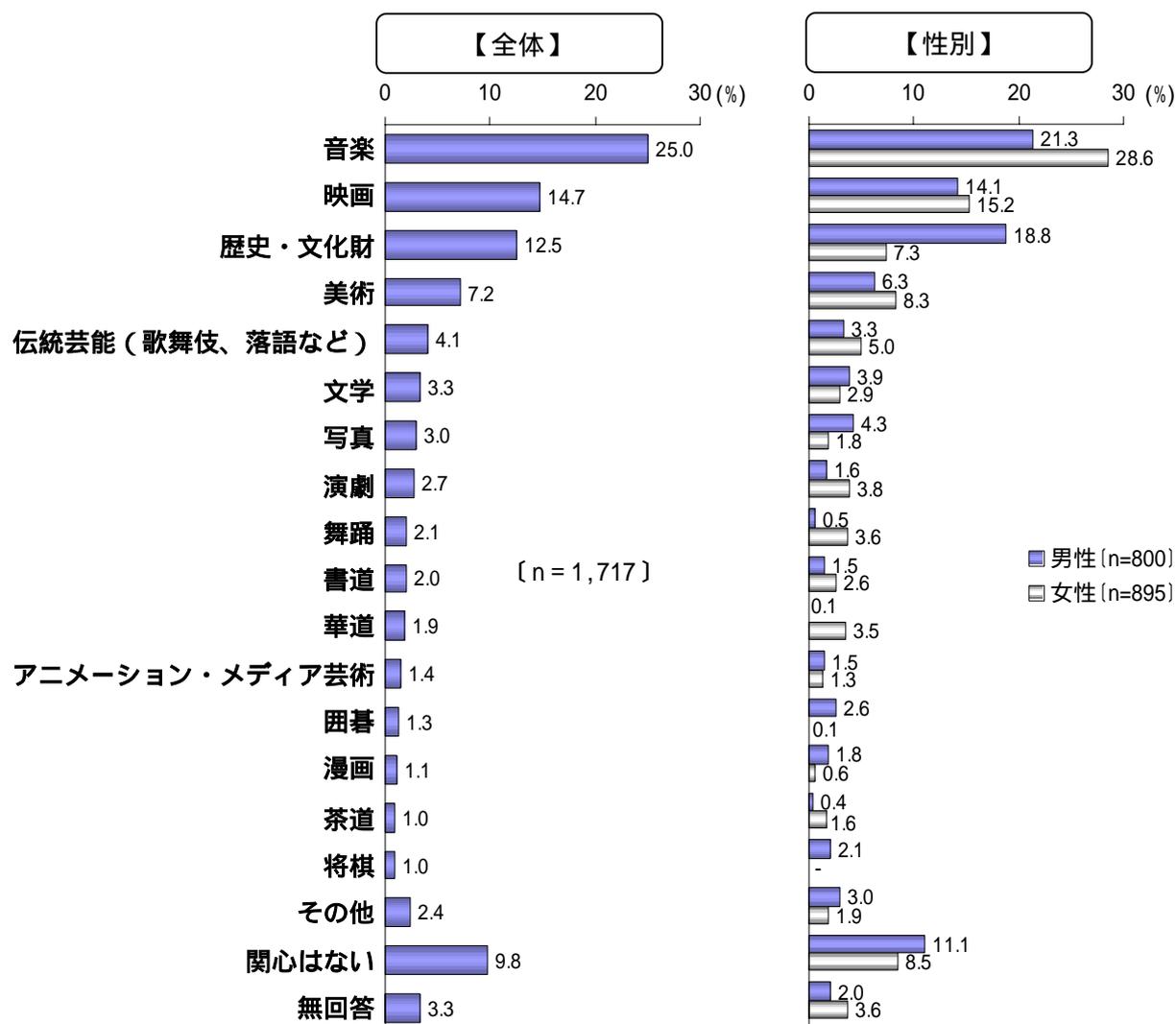
4 文化振興の推進

4 - 1 最も関心のある芸術・文化

「音楽」が4人に1人でトップ。続く「映画」と「歴史・文化財」は1割台

問21 あなたは、芸術・文化のどのような分野に最も関心がありますか。(は1つだけ)

<図表4 - 1> 最も関心のある芸術・文化 (複数回答)



最も関心のある芸術・文化では、「音楽」(25.0%)が最も高く4人に1人で、続いて、「映画」(14.7%)と「歴史・文化財」(12.5%)が1割を超える。一方、「関心はない」(9.8%)が1割弱いる。

【性別】

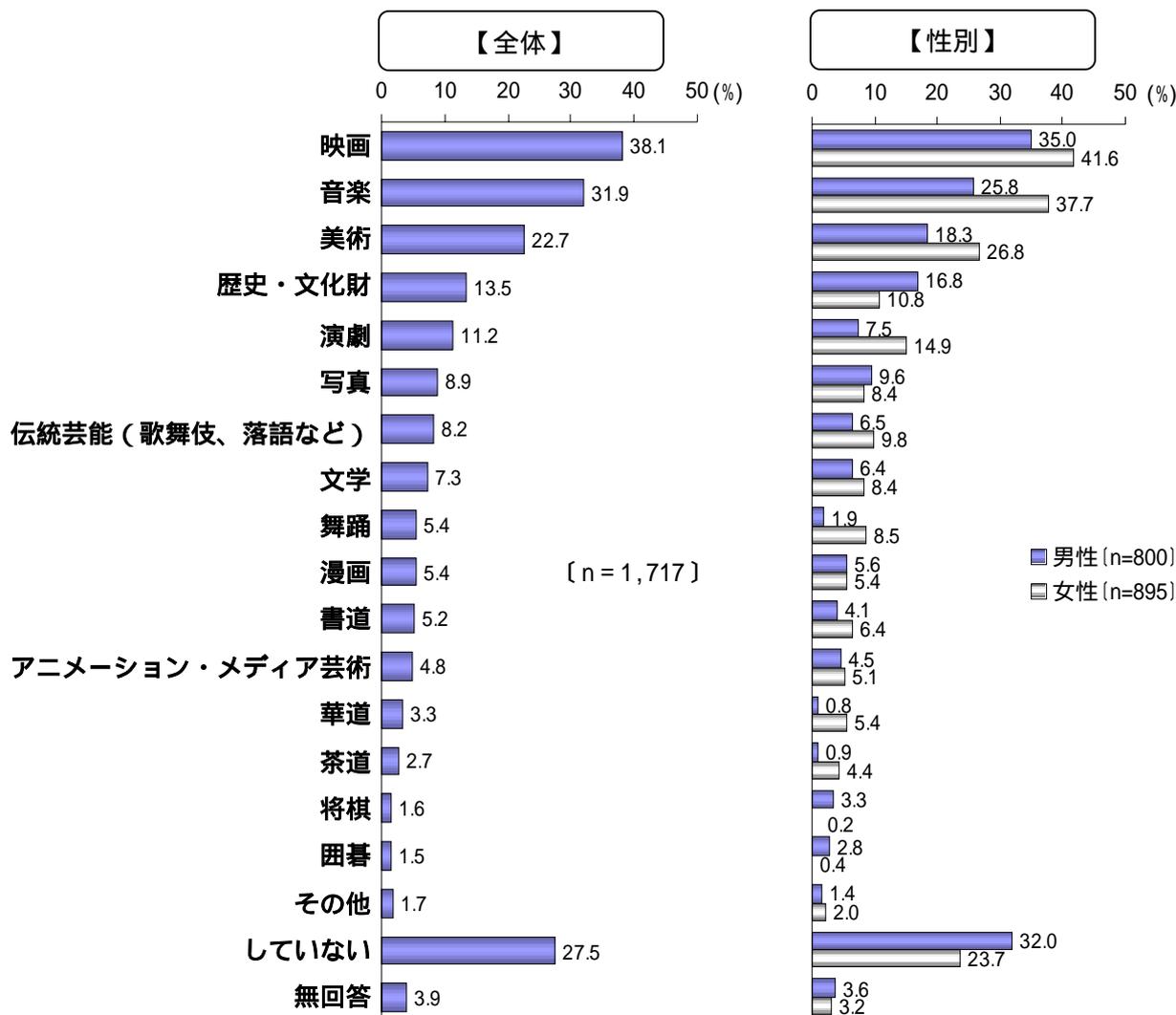
「音楽」は女性の方が男性よりも7ポイント高く、逆に、男性は「歴史・文化財」で12ポイント上回る。(図表4 - 1)

4 - 2 1年間に鑑(観)賞または参加した芸術・文化活動

「映画」が約4割でトップ。続く、「音楽」は3割強

問22 あなたがこの1年間に鑑(観)賞または参加した芸術・文化活動は、どのようなものですか。
(はいくつでも)

<図表4 - 2> 1年間に鑑(観)賞または参加した芸術・文化活動(複数回答)



1年間に鑑(観)賞または参加した芸術・文化活動としては、「映画」(38.1%)が約4割で最も高く、「音楽」(31.9%)が3割を超え続く。このほか、「美術」(22.7%)が2割を超え、「歴史・文化財」(13.5%)と「演劇」(11.2%)が1割を超える。一方、「していない」(27.5%)が約3割と比較的高くなっている。

【性別】

多くの項目で女性の方が男性よりも高く、違いが目立つものをあげると、「音楽」の12ポイント、「美術」の9ポイント、「映画」と「演劇」、「舞踊」の7ポイント差などがある。逆に、男性は「歴史・文化財」で6ポイント上回っている。

また、「していない」は男性の方が女性よりも8ポイント高い。(図表4 - 2)

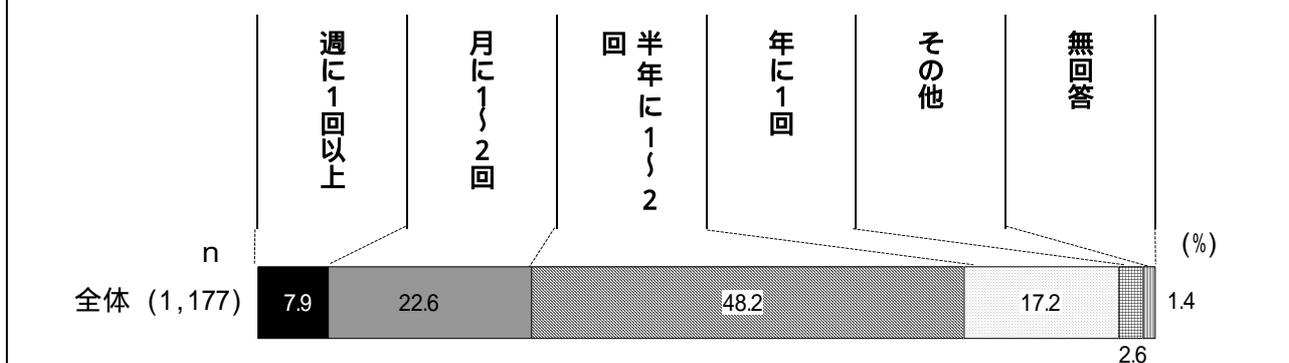
4 - 3 1年間の芸術・文化活動への参加頻度

「半年に1～2回」がほぼ半数

(問22で、「1」から「17」とお答えの方に)

問22 - 1 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含まれます)(は1つだけ)

<図表4 - 3> 1年間の芸術・文化活動への参加頻度



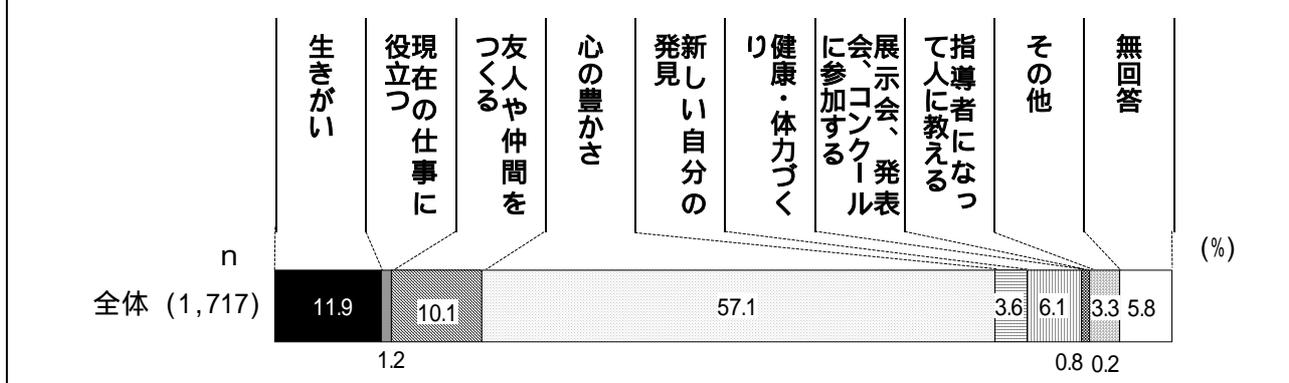
1年間の芸術・文化活動への参加頻度を聞いたところ、「週に1回以上」(7.9%)は少数にとどまり、「月に1～2回」(22.6%)、「半年に1～2回」(48.2%)と期間の単位が長くなるにつれ、比率も高くなる。(図表4 - 3)

4 - 4 芸術・文化活動から最も得られるもの

「心の豊かさ」が約6割で多数を占める

問23 あなたが芸術・文化活動から最も得られると思うものは、どのようなものですか。(は1つだけ)

<図表4 - 4> 芸術・文化活動から最も得られるもの



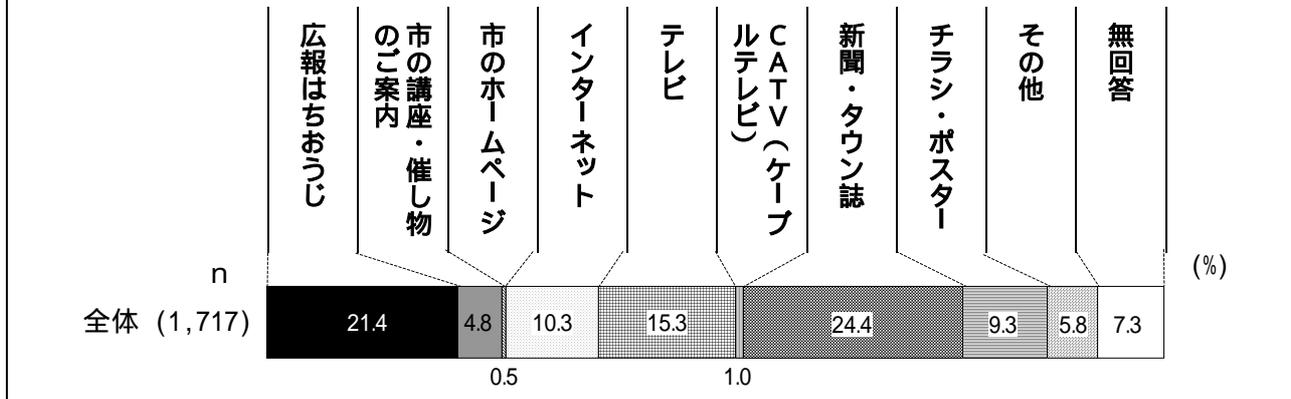
芸術・文化活動から最も得られるものを聞いたところ、「心の豊かさ」(57.1%)が約6割で多数を占め、「生きがい」(11.9%)と「友人や仲間をつくる」(10.1%)が1割を超える。(図表4 - 4)

4 - 5 芸術・文化活動を行う際の情報媒体

「新聞・タウン誌」と「広報はちおうじ」が2割台前半で比較的多い

問24 あなたが芸術・文化活動を行うときに、主に情報を得ているものはどれですか。(は1つだけ)

<図表4 - 5> 芸術・文化活動を行う際の情報媒体

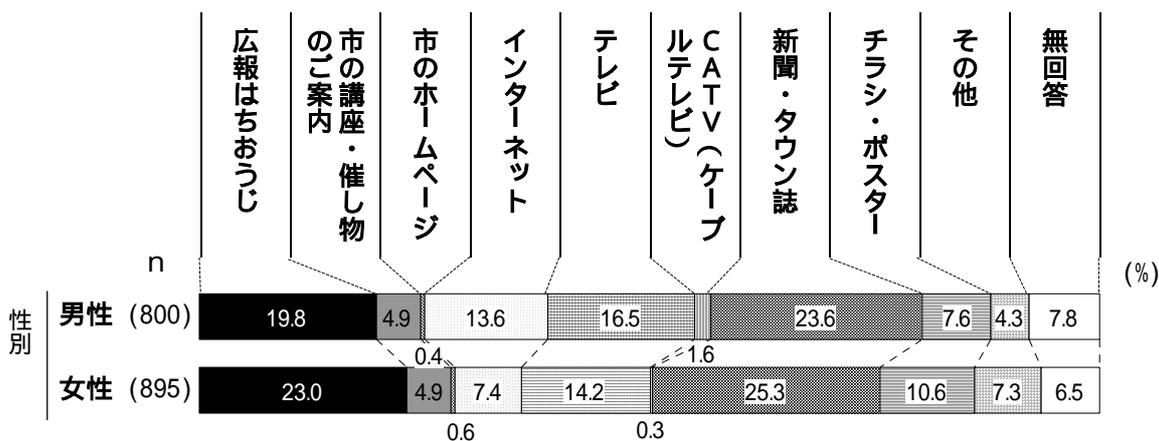


芸術・文化活動を行う際の情報媒体としては、「新聞・タウン誌」(24.4%)が最も多くほぼ4人に1人で、「広報はちおうじ」(21.4%)が僅差で続く。このほか、「テレビ」(15.3%)が1割台半ばを超え、「インターネット」(10.3%)と「チラシ・ポスター」(9.3%)が1割前後である。(図表4 - 5)

【性別】

最も差が目立つのは「インターネット」で、男性の方が女性よりも6ポイント高率である。(図表4 - 6)

<図表4 - 6> 性別

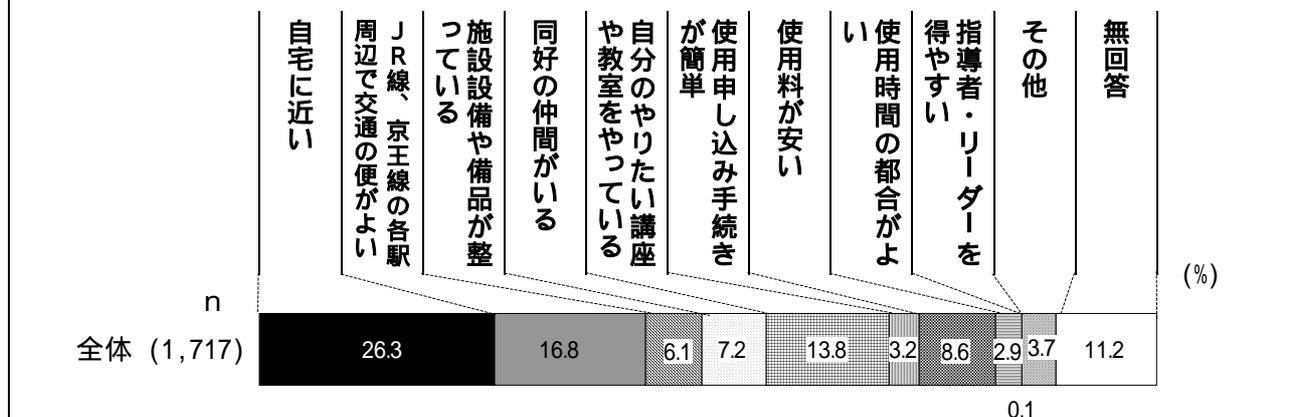


4 - 6 文化施設使用時の選択理由や基準

「自宅に近い」が最も高く2割台半ばを超える

問26 あなたが文化施設を使用するとき、主にどのような理由や基準で選びますか。(は1つだけ)

<図表4 - 7> 文化施設使用時の選択理由や基準



文化施設使用時の選択理由や基準としては、「自宅に近い」(26.3%)が2割台半ばを超え最も高く、「JR線、京王線の各駅周辺で交通の便がよい」(16.8%)と「自分のやりたい講座や教室をやっている」(13.8%)が1割台半ば前後で続く。(図表4 - 7)

【性別】

大きく違いが目立つのは、「自分のやりたい講座や教室をやっている」で、女性の方が男性よりも7ポイント高くなっている。(図表4 - 8)

<図表4 - 8> 性別

